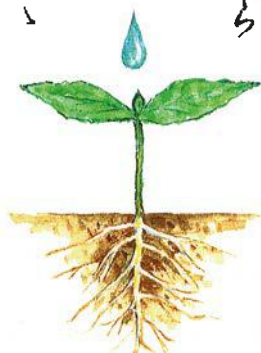


漢方 小児科 婦人科 内科 産科
浮田医院
だより



第 88 号

医療法人 せゝらぎ会

発行所：浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

発行日：2010年 6月 5日(土)

発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(88)

五臓一

あつと言う間に、梅、桜、つつじの季節が過ぎ去りました。田植えも終

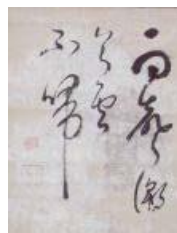
わり、桔梗やアジサイが美しく咲き始めました。高島市新旭町の菖蒲の花はあまりにも有名ですが、この菖蒲園の一角に見事に咲き誇る「ルピナス」の一群には圧倒されます。ルピナスの名は、オオカミに由来し、吸肥力が非常に強い特徴を貪欲な狼にたとえたそうです。花の様子がフジに似ており、花が下から咲き上がるため、ノボリフジ(昇藤)とも呼ばれています。今が見ごろですので是非ご覧下さい。六月は、名古屋で日本東洋医学会総会があり、色々な会議に出席したり、興味ある講演を聞き、多くのことを学ぶ絶好の機会を逃さないようにと思っています。また、多くの方々のご要望にお応えして、各種予防接種、ワクチン接種を実施しています。ご希望の方は、いつでも受付にお問合わせください。

五臓のお話です。

せせらぎ三四、三五、三六、三七、三八、四三、四五、五〇八二号も参考にして下さい。五臓六腑と言われ、五臓とは心(心包)、肺、脾、肝、腎、六腑とは胆、胃、小腸、大腸、膀胱、三焦です。臓は陰液や陽気を生成・貯蔵します。例えば、食べ物が胃に入り、脾の



ルピナス(高島市新旭町花菖蒲園)



働きで消化され、消化されたものは脈中(門脈)や三焦(リンパ管)を通じて、心や肺まで運ばれます(運化)。

この栄養物を全身(頭、手、足など)に運ぶのは、心(血脈を主る(心臓の拍動))と肺(宣散と肅降(全身隅々まで運搬))の働きです。運搬(血流通)調節は肝の自律神経作用で、血管を収縮弛緩させています(疏泄)。腎陰(腎精)は、絶えず脾の働きで補充され、心陰、肝陰、肺陰、脾陰は腎陰から補充されています。このように、五臓は互いに刺激し合い、補い合い調和を保っています。

実例に移ります。

三十九歳女性、三叉神経痛、食欲良好、便秘(二日に一回)。半年前より、顔面神経痛(三叉神経痛)のため、耳鼻科、内科、神経内科、歯科を受診したが痛みが消失しない。顔色は良好、腹は硬く、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、臍傍抵抗圧痛、舌は暗紅紫色、乾薄黄苔、舌下静脈怒張、脈は浮、数、滑。そこで、柴胡加竜骨牡蠣湯(内外傷)加牡丹皮、桃仁、五苓散、修治附子末を処方。二週間後より徐々に痛みが軽くなり、三ヶ月で消失。四ヶ月後廃薬。

二十二歳女性、乳腺炎、二日前より





発熱(三八・五℃)、乳房痛、肩こり、頭痛。食欲良好、便通良好(一日一回)。顔色良好(両側頬紅潮)、脈浮緊数、舌紅色、乾薄黃苔、舌下靜脈怒脹。上下腹部の弾力性低下、胸脇苦満、胃内停水なし、臍上下悸(+)。そこで、葛根湯、桔梗石膏、金銀花、蒲公英、菊花を処方し、乳房マッサージを施行。翌日、平熱、乳房痛消失。二日服薬後廃薬。

五十九歳男性、慢性C型肝炎(二〇年前輸血、五年前、インターフェéron治療)、食欲良好、便通良好、疲労倦怠、顔色不良、腹部軟弱、胸脇苦満(軽度)、心下痞硬、臍上悸、両側臍傍抵抗圧痛(+)、脈は軟弱、沈。舌は、淡紅色、薄乾白苔。そこで、清暑益氣湯(内外傷弁)加牡丹皮、桃仁+サフランを処方。二ヶ月後、倦怠感減少。二年後、HCV抗体は増加していない。現在、継続中。

胃腸風邪、三〇歳男性、悪寒発熱(三十九℃)、嘔吐、下痢、関節筋肉痛。顔は紅潮、腹は軟、右胸脇苦満、脈は浮滑数。舌は紅色、乾黃色苔。そこで、柴苓湯、点滴(補液)により、翌日解熱。二日後、諸症状消失。

六月より、妊娠中の方を対象に「ヨガ教室」を始めます。お腹の赤ちゃん

の声を聞きながら、足(指)、手(指)、耳、腕、骨盤などを動かすことで、体の水分やリンパの流れを促進し、関節(特に、骨盤、股関節など)を柔軟にして、お産をスムーズに乗り切り、楽しい思い出の一ページにして頂きたいと思います。

次回は、めまいーです。



【院長】



三 叉 神 經 痛

突発する激しい顔面の一側性の痛みで、疼痛発作が反復し出現します。この痛みは、会話、食事、洗顔、化粧などにより誘発されます。原因は、微小血管による三叉神経の圧迫です。疼痛は2～10秒のことが多く、やや女性に多いようです。腫瘍や感染や外傷が原因のこともあります。治療は内服薬(西洋薬や漢方薬)ですが、無効の場合、神経ブロックや微小血管減圧術でようなることもあります。



乳 腺 炎

お乳が赤くはれ、痛み、発熱を伴います。時には頭痛、悪寒、食欲低下、便秘、尿量減少を伴います。乳房マッサージ、乳房の安静(冷却)、漢方薬、抗生物質、自然植物によるシップを利用しています。予防は、乳房の自己管理で、乳房と乳首の手入れを怠らず、乳汁のうっ滞や肩こりを感じるときには、当院の漢方薬(エキス剤)、煎じ薬)を服用することをお薦めします。乳房マッサージも適宜実施いたします。



慢 性 肝 炎

慢性肝炎には慢性B型肝炎と慢性C型肝炎があります。いずれの肝炎もウイルス量が少なければ、インターフェéron治療がよいようです。しかし、ウイルス量が多い場合やインターフェéron治療が無効の場合、漢方薬治療で体調(全身倦怠感、食欲不振、肌荒れ)を調える治療も有効な場合があります。



当院の漢方治療



剤型

・エキス漢方薬：錠剤**タイフ**の漢方薬と顆粒**タイフ**の漢方薬があります。

・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分**煮て作ります。

当院の**顆粒タイフの漢方薬**は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)で保管**して下さい。

漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。

・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

予約ー漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります(予約制、2回/月)。午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時。日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス
・メシマコブ・靈芝 ・AHCC ・サメ軟骨

漢方入浴剤

・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
・昇電湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

予防接種 ワクチン接種

インフルエンザ(季節型、新型)、三種混合(DPT)、BCG、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、子宮頸癌予防ワクチン肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
- ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

前期と中期-母親教室

日時:平成22年7月3日、8月7日の各土曜日
対象:妊娠7カ月までの方(定員7名位)(無料)

後期-母親教室

日時:平成22年6月30日(水)、7月14日(水)、24日(土)
対象:妊娠8～10カ月までの方(定員7名位)(無料)

場所:当院別棟多目的ルーム 申込方法:申込ノートでご予約お願いします。※ご主人様もお気軽にご参加下さい。
立会い分娩ご希望の方は、特にご参加をお勧めします。(申込ノートにお名前のお記入をお願いします。)
母親教室では、「母と子のてびき」にそって、お話をすすめていきます。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。

マタニティヨガ講習のお知らせ

当院では6月より新たな取り組みとして専属の外部インストラクターによるマタニティヨガ講習をはじめました。「妊産婦本位の出産、私らしい出産、自然なお産を」をコンセプトに、やさしい講師の方と、楽しくソフトで無理のないプログラムで(約90分)お腹のベビーとママさんお二人の時間をお楽しみ下さい。当院で分娩希望のママさんはもちろんの事、他院で分娩予定のママさんもお気軽にご予約して下さい。

永富独嘯庵(1732～1766)

山口(長門)豊浦に生まれ、永富友庵(赤間関の医師)の養子になる。儒学を山県周南(荻生徂徠の弟子)、服部南郭、太宰春台に医学を井上元昌に学んだが満足せず、京都で山脇東洋、香川修庵、奥村良筑(越前の吐法家)や吉雄耕牛(長崎の蘭医)らに学んだ。梅毒治療を得意とし、「微瘡口訣」「吐方考」「漫遊雑記」などを著した。吉益東洞に「一大敵国を見るが如し」と言わせた。



分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡しします。

4D外来(助産師)

助産師が4Dを実施します(およそ30分)。お腹の赤ちゃんの様子が映し出されます。ご希望の方は予約してください。
火曜日と木曜日(掲示をご覧ください)

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、ブライダルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

産後相談 母乳相談(助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においてください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時:毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー…など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています(妊娠16～22週)。
詳細は受付でお聞きください。